

SUSTAINABILITY
REPORT
2026



人がつどい、社会に発信する
株式会社 マルワ

人が集い、社会に発信する会社 それが私たちマルワです

VISION

「つどい」をキーワードに
理想の会社像をマルワがつくれます

VALUE

自分に関わる全ての人を笑顔にするために、
思いやりをもって、行動をします

MISSION

「お客さま」「社員」「地域」「社会」に
必要とされる企業であり続けます

CODE OF CONDUCT

行動指針

ISO14001
環境マネジメントシステム行動指針

地球に優しさ発信

作成:2004年7月30日

品質管理行動指針

お客様あつての品質向上

～お客様のための品質マネジメントシステムの活用～

作成:2002年11月30日

ISO27001
情報セキュリティマネジメントシステム基本行動指針

お客様に 安心と信頼を提供する 情報セキュリティの実現

作成:2005年9月1日

E

環境

環境問題に責任を持ち、直接・間接的な持続可能な自然保護
に努めています。

- CO₂排出量監視
- 印刷に関する環境配慮



S

社会

地域やステークホルダーに対し必要な取り組みを常に模索し、
持続可能な社会を目指すことで企業としての責任を果たします。

- ボランティア活動・地域社会貢献
- 地域の自然保護につながる活動



G

経営

的確な経営の意思決定、業務執行体制の確立と共に、社員の
働き方の多様性や女性活躍の推進を通して持続可能な経営を
目指しています。

- お客さまへの取り組み
- 社員への取り組み



破 創 新

変わる覚悟が、
未来を創る

第59期を終え、マルワは新たな時代への扉を開きました。創業から69年、株式会社として60期という節目を迎える今、これまで培ってきた価値を受け継ぎながら、その先にある未来を見据えています。
第59期は「破創新～変わる覚悟が、未来を創る～」を掲げ、既存の枠を破り、新しい価値を創ることに挑戦しました。その象徴の一つがZINEの取り組みです。「ZINE BASE NAGOYA」を立ち上げ、社員自らが企画し、名古屋から東京へと活動の場を広げました。印刷物をつくるだけでなく、人の想いや表現を社会へ届け、新たな市場を創る。印刷会社としての可能性を広げる一歩となりました。
紙を扱う企業だからこそ、その価値と可能性を正しく伝え、環境への責任を果たしていくことも私たちの使命です。
「会社が続くことそのものがサステナビリティではない。時代が変わっても、社会に必要とされ続ける会社であることがサステナビリティである。」これは、会長が大切にしてきた考え方です。私はこの言葉を受け継ぎながら、時代に合わせて変わることを恐れず、新しい風を吹き込んでいきます。
適正な利益を生み、その利益をお客さまへのより良いサービス、社員への還元、そして未来への投資につなげる。69年の歩みを力に変え、社員とともに、次の時代にも必要とされるマルワを創ってまいります。

代表取締役 鳥原 裕史
※59期（2025年9月～2026年8月）



59期 SLOGAN

ENVIRONMENT

中小企業版 SBT 認証や ISO14001（環境マネジメントシステム）に基づく、環境負荷計測および低減施策を実行しています。また、印刷工程や資材調達においても、一貫して環境配慮を行っています。

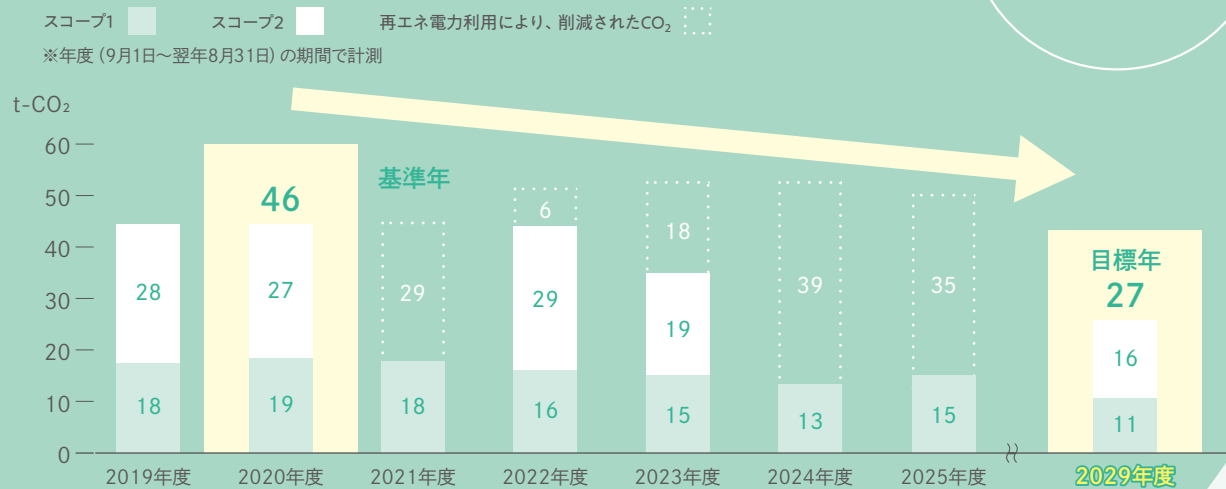


CO₂ 排出量監視

2023年に中小企業版 SBT^{*}認証を受けました。ガソリン（スコープ1 / 直接排出）と、電力量（スコープ2 / 間接排出）を2029年までに2020年度比で42%削減することが目標。また、紙などの仕入れ原料（スコープ3 / その他の間接排出）も自主的に設定した目標値まで削減するよう努めています。

^{*} Science Based Targets。パリ協定の水準と整合した温室効果ガス排出削減目標を立てていることを示す国際認証。

-42%



カーボンニュートラルへの取り組み

マルワは2005年の愛知万博を契機に、約20年にわたり環境活動を続けてきました。特にCO₂排出低減については、カーボンニュートラルという言葉が定着する以前から、**カーボンオフセット^{*}**という形で14年間取り組んでいます（※自社で削減しきれなかったCO₂を、他の削減活動への投資によって埋め合わせる）。また、電力は2024年7月より「**GreenでんきRE100**」に切り替え、電気由来の排

出を実質ゼロとしています。直接排出となるガソリンについても、営業車にはハイブリッド車を選び、社内でシェアして保有台数を最少に抑えるなど、日々の業務のなかで地道な削減を重ねてきました。こうした取り組みを**中小企業版 SBT 認証の削減目標のもとで管理**し、数値で「見える化」しながら継続しています。脱炭素社会に向けて当社ができることを、これからも一つひとつ着実に進めていきます。



環境配慮印刷

2006年、印刷工程全体で環境負荷の低減に取り組む「**グリーンプリンティング (GP) 認定工場**」になりました。GP 認定は、有害物質の削減、省資源・省エネルギー、物質循環や生物多様性の保全など、業界が定める70項目に及ぶ基準を満たした工場に与えられます。インキには、再生産可能な植物由来の油を基準量以上含む**ベジタブルオイルインキ**を100%使用しています。印刷用紙についても**環境配慮紙**の使用

を推奨しており、森林認証紙をはじめ、廃棄されるバナナの茎を原料にしたバナナペーパー、洋服ごみから生まれたサーキュラーコットンペーパーなどをお客さまのご要望に応じて適宜提案しています。資材の選定から印刷工程までISO14001のもとで管理しながら、環境負荷の少ない印刷を実践しています。



環境数値計測

（対象期間：2025年9月1日～2026年8月31日まで） ★は産業廃棄物

部署	内容	目標	結果	備考・算出方法
企画・営業	ガソリンの原単位管理	8,500円/ℓ以上	9,950円/ℓ ○	売上高÷営業車1台あたりの平均
	電気量の原単位管理	0.3以下	0.207 ○	期間内に使用した電力量÷売上高
業務	紙ごみ量の原単位管理	0.1以下	0.059 ○	紙ごみ量 [*] ÷売上高 [*] 紙ごみ量：資源リサイクル業者への引き渡し量として把握
	★ 廃ガム液 [*] 率 [*] ※印刷版の製造の際に出る薬液	11%以下	10.9% ○	廃棄量 [*] ÷購入量 [*] 廃棄量：産業廃棄物取扱業者への引き渡し量として把握
印刷	★ 廃インキ率	21%以下	20.22% ○	廃棄量 [*] ÷購入量 [*] 廃棄量：産業廃棄物取扱業者への引き渡し量として把握
	ウエス数	800枚以下	710枚 ○	印刷インキなどの産業廃棄物を拭くための専用布、ウエス（レンタル品）の使用数

GOVERNANCE

健全な経営は、関わるすべての人からの信頼の上に成り立っています。マルワは、透明性のある意思決定、多様化するリスクへの備え、人を大切に作る職場づくりを通じて、変化の時代にも事業を継続できる、信頼性の高い企業であることを目指しています。



BCP（事業継続計画）

地震や水害、火災、感染症の流行、サイバー攻撃など、企業の活動を脅かすリスクは年々多様化しています。マルワは、こうした緊急事態が起きても事業をできる限り止めず、早期に復旧できるよう、2007年から事業継続計画（BCP）に取り組んでいます。その実効性は社外からも認められ、国の「事業継続力強化計画」の認定を受けています。日頃から、連絡体制の整備や、遠隔地の同業他社とのデータ相互バックアップを進め、自社の機器が使えない状況でも業務が続けられる体制づくりに努めています。2026年には、いざというときに社員がすぐ動けるよう「緊急時初期対応ハンドブック」を新たに作成しました。また、20年近くにわたる自社での実践で培った知見を活かし、中小企業向けのBCP策定支援やセミナーにも取り組んでいます。もしものときにも事業を止めることなく、すべてのステークホルダーへの責任を果たし続けられるよう、今後もBCPの実効性を検証し、備えを強化してまいります。



定期点検に基づく経営

マルワでは、特定の個人に依存しない、しくみに基づいた経営を心がけています。その基盤となるのが、国際規格に沿ったマネジメントシステムの運用です。ISO14001（環境）とISO27001（情報セキュリティ）の認証を取得し、審査機関による外部審査を定期的に受けながら、その維持・更新を続けています。ISO9001（品質）については2021年より自主運用に移行しましたが、これは認証取得によらずとも品質マネジメントの仕組みを社内に定着させられると判断したためであり、そのしくみ自体は社内基準として継続して

います。ISO9001由来のこの運用は、年に一度の内部監査によって点検しています。監査はチーム制で行い、社長を含むすべての部門・委員会を対象に、規格に沿った運用ができているか、部門目標が進んでいるか、前回の指摘事項が改善されたかを確認します。加えて、外部会計士による定期監査も実施しています。また、全日本印刷工業組合連合会のCSR認定制度では、最上位となる3スター企業の認定を受けています。内と外の両面から定期的に点検を重ね、健全な経営を保っていきたいと考えています。



リスクマネジメント

情報セキュリティマネジメントの国際規格ISO27001に基づき、情報資産を管理しています。その具体的な運用方法を業務工程ごとにまとめた「情報セキュリティ運用ハンドブック」を作成し、全社で共有したうえで定期的に見直し、常に最新の内容へ更新しています。あわせて、社内勉強会やテストの実施、社内メールでの注意喚起などでセキュリティ関連情報を共有しています。そのほかに、協力会社との秘密保持契約や、遠隔地とのデータ相互バックアップにより、情報漏えいやシステム停止に備えています。近年利用が広

がる生成AIについても、「生成AI利用ガイドライン」を整備し、リスクを踏まえた利用ルールを定めています。また、不正やハラスメントの早期発見と是正に向けて、公益通報者保護法に基づく内部通報制度を整備し、社内（運営委員会）と社外の双方に通報窓口を設けるとともに、通報者が不利益を受けないことを定めています。あわせて、全社員を対象とした社員アンケートを実施し、問題の早期発見や未然防止にも努めています。さまざまなリスクに日頃から備え、継続性、信頼性の高い体制づくりを目指しています。



人的資本への取り組み

社員一人ひとりを企業の財産と考え、誰もが安心して長く働ける環境づくりに取り組んでいます。社員の健康維持・増進を重要な経営課題のひとつと位置づけ、現在は「健康経営優良法人」の認定取得を目指しています。その一環として、受動喫煙の防止と健康増進に関する方針を新たに定めたほか、健康診断は受診率100%を継続しています。働き方の面では、年間休日120日、ノー残業デーの設定、勤務間インターバル制度の導入により、長時間労働の防止に努めています。有給休暇については取得推奨日の設定などに

より取得を後押ししているほか、産休・育休や副業に関する制度を整備し、社員が働き方を柔軟に選択できる体制を構築しています。こうした取り組みは、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定や、名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業認定など、社外からの評価にもつながっています。また、社内勉強会の開催や、外部研修への参加・資格取得の奨励を通じて、社員一人ひとりの学びと成長を後押ししています。働く人がやりがいを持ち、いきいきと力を発揮できる会社であり続けたいと考えています。



BUSINESS

事業案内

マルワは、「発想から発送まで」をひと続きで支えます。
印刷にとどまらず、課題に合わせたさまざまな媒体でお客様の情報発信をお手伝いします。

印刷事業

チラシ、名刺、パンフレット、冊子などの印刷を手がけるほか、各種ノベルティの企画提案・制作も承ります。オフセット印刷機に加え、オンデマンド印刷機、各種加工機を自社に備えており、印刷技能士一級のスタッフが在籍しています。ベジタブルオイルインキやエシカルペーパーを使用した環境にやさしい印刷をお届けします。



編集プロダクション

記念誌、会報誌、書籍（自費出版）、動画制作、Webサイト制作などの企画提案および制作を承ります。お客様の課題をヒアリングさせていただき、ご予算に応じて媒体を問わず情報を伝えるかたちを整えます。社内のデザイナーが、メディア・ユニバーサルデザインに配慮した見やすく伝わりやすいデザインをご提案します。



セミナー・事務局運営

セミナーやイベントの運営代行、事務局業務、議事録や報告書の作成などを一括して承ります。デザイン・印刷部門を自社に有するため、申込募集のチラシデザインから、当日のオンライン配信に必要な機材の準備および運営まで、一貫した対応が可能です。区民祭りなど、地域イベントの運営も承ります。



委員会活動

マルワでは、全社員が部署の垣根を越えた3つの「委員会」のいずれかに所属しています。委員会活動として、それぞれがマルワのブランディングに取り組んでいます。



みらい創造委員会

セミナー開催や展示会への出展、各種コンペへの挑戦などを通じて、新たな事業展開とマルワらしさの発信に取り組んでいます。



環境といえばマルワ委員会

SBTや各種環境認証の維持・啓発、アップサイクルの継続など、環境負荷の低減に関する活動を進めています。



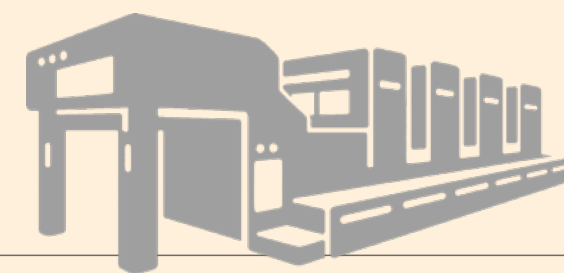
おもてなし向上委員会

会社見学やインターンの受け入れ、健康経営の推進や社内イベントを通じて、社員がいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

CSR

HISTORY

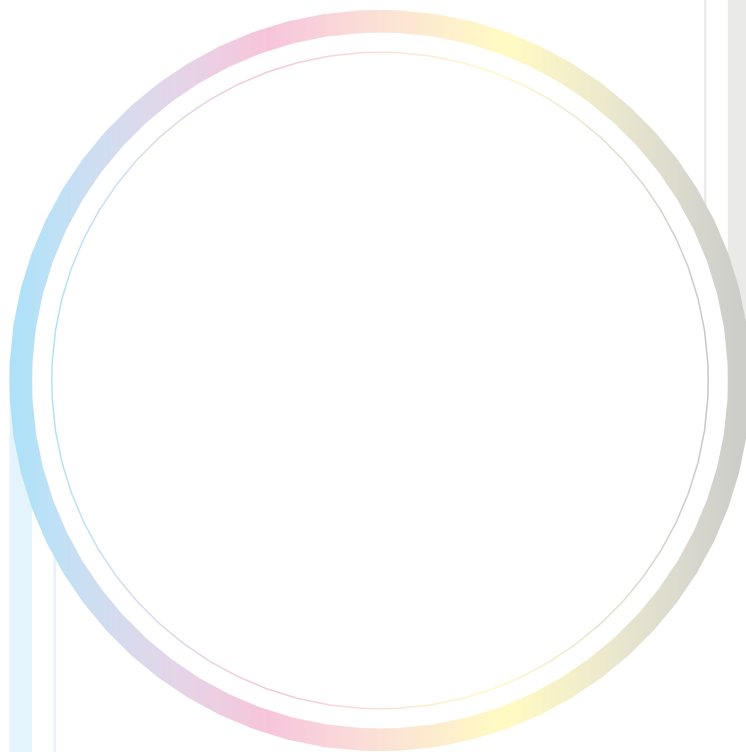
マルワの歩み



- 1958年 名古屋市中区千郷町にて営業開始
- 1968年 株式会社に組織変更
- 1980年 天白区平針に移転
- 1998年 鳥原久資 代表取締役役に就任
- 2001年 ISO9001認証（品質マネジメントシステム）
- 2002年 ISO14001認証（環境マネジメントシステム）
- 2004年 東京営業所開設
ISMS認証（情報セキュリティマネジメントシステム）
- 2005年 名古屋市エコ事業所認定
- 2006年 ISO27001へ移行
GP（グリーンプリンティング）工場認定
- 2009年 マルワ委員会制度が本格始動
- 2010年 FSC® 森林認証
- 2012年 社名を株式会社マルワへ変更
カーボンオフセット開始
- 2013年 全印工連CSR認定
- 2017年 あいち女性輝きカンパニー認定
- 2018年 えるぼし企業認定
- 2019年 地域防災協力事業所表示証交付
SECURITY ACTION
- 2020年 ワーク・ライフ・バランス推進企業認証
おもてなし規格認証2020金認証
地域未来牽引企業に選定
「花の王国あいち」サポート企業認定
あいちっこ家庭教育応援企業に賛同
- 2021年 ISO9001（品質マネジメントシステム）
自主運用に移行
あいち認知症パートナー企業認定
- 2022年 社屋内装リノベーション
あいち生物多様性企業認証

- 2023年 中小企業版 SBT 認定
事業継続力強化計画認定
三重営業所開設
- 2024年 全印工連CSR スリースター認定
Green でんき RE100に変更
なごやネイチャーポジティブパートナー認定
再エネ100宣言 RE Action
- 2025年 鳥原裕史 代表取締役役に就任
パートナーシップ構築宣言に登録
- 2026年 ZINE BASE NAGOYA 始動





■本社所在地

〒468-0011 名古屋市天白区平針四丁目211番地
TEL (052) 802-4141 FAX (052) 802-9355

■東京営業所

〒171-0014 東京都豊島区池袋二丁目14-2
TEL (03) 5953-1732 FAX (03) 5953-8907

■三重営業所

〒510-0821 三重県四日市市久保田2丁目3-18
プリンセスマンション1A
TEL (050) 6861-7354

URL <https://www.maruwanet.co.jp>
E-mail info@maruwanet.co.jp

サステナビリティレポート2026 (対象期間: 2025年9月～2026年8月まで)

